

令和7年度 「会員のつどい」開催



賛助会員をはじめ、観光関係の皆様との交流を図る、年に一度の催しです。多数の御参加をいただき、ありがとうございました。

総務企画部 部長 多田 昌志

11月10日、宮崎市において、今年度の「会員の集い」を開催しました。

この「会員の集い」は日頃、当協会の活動を支えていただいている方にご出席いただき、お互いの交流を深めていただく機会として、毎年一回開催しているものです。

当日は佐藤弘之・宮崎県副知事、外山衛・宮崎県議会議長、二見康之・宮崎県議会観光振興議員連盟会長を来賓にお迎えし、当協会の賛助会員をはじめ評議員、役員、県議会観光振興議員連盟の方々等、160名を超える参加をいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

観光関連功労者・ フォトコンテスト表彰



(上)会場の様子 (左上)主催者としてあいさつを行う米良充典会長
(下左)観光関連功労者表彰後、記念撮影を行う(左から)米良会長、甲斐晃一郎さん、のじり湖祭実行委員会の皆さん
(下右)「2026年版みやざき観光カレンダーフォトコンテスト」入賞の(左)安藤さん、(右)坂元さん

「ダーフォトコンテスト」の表彰も行われ、応募総数748点の中からカレンダーに採用された全13作品の紹介の後、最優秀賞に選ばれた安藤智保さん、優秀賞の坂元将之さんにそれぞれ賞状と副賞が授与されました。



NO.1の環境をPR スポーツ合宿等誘致セミナー



今後もこのような機会を活用し、宮崎の優れたスポーツ環境を積極的にPRしていきます。

スポーツランド推進部 課長 田中 太

11月27日に大阪市で、スポーツ合宿等誘致セミナーを開催しました。セミナーでは、当協会の他、市町村観光協会、宿泊施設等の事業者の皆さんにもご参加いただき、対象者である関西圏の大学生に対し、本県の有する合宿環境の良さ、支援制度等をPRするとともに、対面方式での個別の合宿誘致を行いました。また、翌日には関西地区の旅行会社を訪問し、スポーツ合宿等に係る送客支援をお願いしました。



【発行】 公益財団法人宮崎県観光協会 総務企画部
〒880-0811 宮崎市錦町1番10号
宮崎グリーンスフィア壹番館
(KITENビル)3階
TEL:0985-26-6100
FAX:0985-26-6123
info@kanko-miyazaki.jp



宮崎県公式観光サイト



公式戦開催も決定 ラグビー 宮崎合宿



国スポ・障スポ2027へ向けて施設整備も進んでいることから、新たなスポーツ合宿、大会誘致に繋げていきます!

スポーツランド推進部 係長 村脇 寿彦

9月から12月にかけて、ジャパンラグビーリーグワンに所属するコベルコ神戸スティーラーズ、静岡ブルーレヴズ、東京サンタリーサンゴリアス、トヨタヴェルブリッツ、九州電力キューデンヴォルテクス、浦安D-Rocks、埼玉パナソニックワイルドナイツの7チームが県内で合宿を行いました。

また、来年2月14日には、KUROKIRI STADIUM(県山之口陸上競技場)において、浦安D-Rocks VS 東京サンタリーサンゴリアスの公式戦が行われます。ぜひ会場へお越し頂き、迫力のある試合をご覧ください。

国内外7チームが集結 プロ野球秋季キャンプ



宮崎県の目指す「スポーツ環境日本一」の実現に向けてこれからもキャンプ地宮崎を全国に発信していきます。

スポーツランド推進部 主任 比江嶋香織



【侍ジャパン 春季キャンプ情報】

・日程 2月14日～2月24日
・会場 ひなたサンマリンスタジアム
宮崎ほか
【ラグザス 侍ジャパンシリーズ
2026 宮崎(壮行試合)】
2月22日、2月23日
VS 福岡ソフトバンクホークス

10月から11月にかけて、野球では、広島東洋カープ、埼玉西武ライオンズ、千葉ロッテマリーンズのNPB球団に加え、韓国KBOリーグより、斗山ベアーズ、ハンファ・イーグルス、ロッテジャイアンツの3球団が宮崎県内で汗を流しました。

また、11月6日から12月まで、「2026 WORLD BASEBALL CLASSIC™」に向け、野球日本代表「侍ジャパン」トップチームが強化合宿を行い、6日間で4万人を超えるファンが訪れるなど賑わいを見せっていました。



誘客促進へ 台北国際旅行博出展



出張の際は、必ずタピオカドリンクを飲んでいます。おすすめは50嵐！台湾に行った際は是非！謝謝！

海外誘致部 主事 本田 聖真

11月7日から10日まで台北市内で開催された、台湾最大の旅行博・ITF2025へ出展しました。来場者数は365,302人（速報値）で前年比100.2%を記録し、特に8日と9日は土・日曜日で過去最多、9日は全日でも過去最多の来場者となりました。

本県ブースでは、参加いただいた日南市観光協会、椎葉



会場の様子。多くの来場者で賑わいました。

村、小林まちづくり株式会社と現地の台湾宮崎県人会の皆様にご協力いただき、ガラポン抽選やみやざき犬による歓迎、各市町村等から提供いただいたパンフレットの配布等を実施し、合計3,649件のアンケートを回収出来ました。今後はこれらのアンケートを参考に、より効果的な台湾からの誘客を図ってまいります。

MICE誘致促進へ
インセンティブ商談会



団体でしか体験できない宮崎のコンテンツを海外の方々に発信し、学会や企業インセンティブ（報奨）旅行の誘致に取り組んでいます。

MICE誘致部 部長 中武 康二



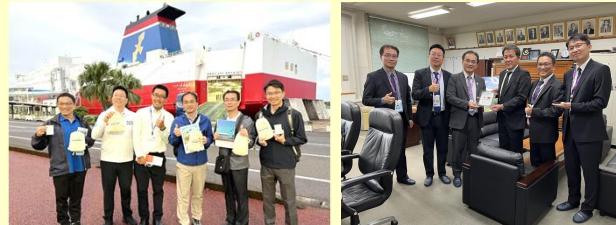
会場の様子。本県について高い関心を示していただきました。

9月18日に台北市で行われた、JNTO（日本政府観光局）主催のインセンティブ商談会に参加しました。

現地からは台湾の旅行会社44社が参加、出展者側は、日本各地からコンベンションビューロー、観光施設、宿泊施設等24団体が参加し、各ブースに分かれプレゼンを行いました。当協会からは宮崎でしか体験できないニシタチ

人情横丁の貸切プランや、工場、大学などの産業視察、また補助金、視察支援制度等について、パンフレットや映像を使って説明を行い、各旅行会社から高い関心を示していました。

今後も定期的に情報発信を行い、台湾からの団体誘致に取り組んでまいります。



宮崎カーフェリーの前で

高千穂高校にて

教育旅行促進へ 宮崎県視察団受入



台湾では教育旅行先として日本の人気が高く、長年首位となっています。宮崎の魅力を知っていただき、今後の誘致につなげていきたいと思っています。

国内誘致部 部長 後藤 英一

台湾から本県への教育旅行の促進を図るため、10月21日から25日までの日程で、台湾の高等中學（日本の高等学校）の校長等5名をお招きし、本県ならではの魅力をリアルに体験していただきました。

高千穂高校、宮崎学園高校の2校との学校交流、西都での農家民泊を中心に、江田神社での神話のガイド、日南

飫肥での食べ歩き町歩き、宮崎カーフェリーの船内見学など、いずれも大好評でした。視察団の団長の先生からは「宮崎の人は行く先々で温かく迎え入れてくれて、本当に素晴らしい。是非生徒たちを連れてきたい」との言葉をいただくなど心から気に入っています。

一層の推進を ユニバーサルツーリズム



ユニバーサルツーリズムが多くの方に周知いただけるよう、積極的に取り組んでいきます。

国内誘致部 主任 松本 和枝



10月9日にえびの市で実施された「第3回えびの市観光大学」において、ユニバーサルツーリズムについての講演を行いました。当日はえびの市内の観光事業者、宿泊事業者等の方々約30名が参加され、宮崎ユニバーサルツーリズムセンターの取組や観光施設における心のバリアフリー認定制度など、熱心に聞き入れていただきました。今後も県内におけるユニバーサルツーリズムを推進するため、周知を図ってまいります！

宮崎の魅力をPR ツーリズムEXPOジャパン



「何でも極上」な魅力あふれる宮崎へ、たくさんの方に足を運んでもらえるよう、あらゆる機会を通じて観光誘客に取り組んでいきます。

国内誘致部 部長 根井 章次



抽選で総勢654名様に宿泊券や特産品などが当たる!!
キャンペーン期間 2025.7.18 ㈯ → 2026.2.28 ㈯

フェニックス・リーグや侍ジャパンコースを開催し、県内外の多くの方にスタンプラリーを通じて、宮崎の素晴らしい景色を見て、美味しいものを食べて、ますます宮崎を好きになってもらいたいです。

国内誘致部 主任 藤山 麻美

昨年に引き続き今年度も「NANGOKU!みやざきデジタルスタンプラリー」を開催しています。

今回は標準コースの他に、期間限定コースとして、夏休みコース、みやざき



スタンプラリーを通じて、宮崎の素晴らしい景色を見て、美味しいものを食べて、ますます宮崎を好きになってもらいたいです。

スタンプラリーは来年2月28日まで開催します。「月刊情報誌タウンみやざき」とのコラボとしてコマ地図コースも開催中です。また、プロ野球春季キャンプや侍ジャパンキャンプコースも予定していますので、ぜひチャレンジしてください。



会場の様子。本県ブースには連日、多くの方に訪れていただきました。

9月25日から28日まで、中部国際空港隣の愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）では初の開催となった「ツーリズムEXPO JAPAN 2025 愛知・中部北陸」に出展し、観光PRや旅行業者等との商談を行いました。一般向けの27日と28日には、宮崎に関するデジタルアンケートや神楽等のVR体験、



県内の視察では、細島港、宮崎港のほか、西都原考古博物館や高千穂峡などの観光地を御覧いただきました。

海外クルーズ船社 キーパーソン招請



外国船の本県への寄港は回復傾向にあり、ラグジュアリー船やプレミアム船の寄港に関する問い合わせも増加しています。

海外誘致部 部長 鷹取 善昭

11月14日から16日まで、本県へのクルーズ船誘致拡大に向けて、英国のクルーズ船社・ノープル・カレドニア社の、寄港地選定に関わるキーパーソンを招請し、県内の港や観光地等の視察を行いました。同社は、ロンドンに本社を置く、小型船による探検型・文化型クルーズを行うクルーズ船社で、世界中の小規模港や文化的価値の高い地域を訪れる探検型クルーズのリーディングカンパニーとして知られ

ています。

来年4月から6月にかけて、同社の船舶「カレドニア・スカイ」が日本へ寄港するに伴い、本社の寄港地観光を担当するキーマンを招請し、本県の港と観光地の魅力をアピールしました。来年、宮崎県内の港へ寄港していただき、本県の魅力をお楽しみいただきたいと考えています。